

更なる活躍が期待される若手社員のモチベーションを高める

第3期 壁を乗り越える研修

～同世代の他参加者との交流から気づきを得て、仕事力を高める～

【研修のねらい】

更なる成長が期待される社会人1～5年目にあたる層は、仕事の慣れや失敗などからモチベーションの低下を起こすケースが見受けられます。また、モチベーション低下の大きな理由として「大きな目標を達成できなかった」「自分が思っていたより周囲に評価されない」などのマイナス思考によるものもあり、これらは周囲の期待と自身の認識のズレ、自分自身で適切な目標設定ができていないことなども起因となります。

今回で3回目を迎える当研修は、客観的な視点とモチベーションのコントロール手法を学び、明日からの適切な目標設定を行うとともに、上手くいかない状況に陥った際の“壁”をプラスと捉え、自身を成長させていく「考え方の切り替え」も学びます。

また、過去2回とも好評を得ました同じ年代・立場の他社参加者との交流は、様々な“気づき”を得ながら、仕事力を高めていくカリキュラムとなっています。是非、貴社で今後の期待を担う若手の皆様をご派遣下さい。

- ◆日 時：令和7年7月11日（金）9：30～16：30（昼休憩45分予定）
- ◆会 場：日本製鉄鹿島人材育成センター（鹿嶋市光 953-16 Tel：0299-90-3611）
- ◆対 象：入社1年目～5年目の若手社員の皆様
- ◆定 員：40名 ※最小催行人数（15名）に達しない場合、中止となることがありますので、予めご了承下さい
- ◆参加費：会員 8,000円/名 <会員外 24,000円/名> ※昼食はお弁当をご用意致します

【前回、同研修を受講された方々のアンケートより（抜粋）】

- ・自分の不得意なことについて見つめ直す良い機会となった。失敗を恐れず、チャレンジしたい。
- ・業種が異なる他参加者との意見交換は、自分と違った考え方・捉え方にふれる良い機会となった。社内に同年代の社員はおらず、同じ世代の方々との交流は楽しく、自分への励みにもなった。
- ・同年代の方々と話し、仕事への悩みを持つのは、自分だけではないことが分かっただけでも有難

【申込方法】 下記参加申込書にて、7月7日(月)までにメールまたはFaxでお申込み下さい。
お申込みいただいた方には事前に参加票および請求書をお送り致します。

◆WEBからのお申込み（下記URL 又は右記QRコード から）にご協力下さい。

⇒ <https://e-ve.event-form.jp/event/101656/20250711>



講師：(株)インソース 講師 尾形 秀紘（おがた ひでひろ）氏

【略歴】2006年、(株)JT B 首都圏にて法人営業、2010年 JT B Europe Ltd, London Office、2011年(株)ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツにて、宿泊部門のフロント業並びに新卒社員の指導社員・メンターなどの人材育成を担う。その後、新規ホテル開発部マネージャーとして異動新ブランドの立ち上げや、大阪開業までのプロジェクトマネジメントを担う現地でスタッフの採用・研修を自ら手掛け、2店舗を新規開業させる。2024年よりインソース講師に就任。

■指導分野 管理職（課長級）、CS、クレーム対応、コミュニケーション、プレゼンテーション、マナー、電話対応、リーダーシップ、OJT、コーチング、評価者、営業、ハラスメント、メンタルヘルス、キャリアデザイン問題解決他

■実績 総登壇回数 66回（内容評価 98.6%、講師評価 96.7%）

【支払方法】 銀行振込(開催翌月の月末までのお振込み)にてお支払い下さい。

【振込先】 常陽銀行本店 普通預金口座 No.6501 口座名：一般社団法人茨城県経営者協会
※お手数ですがお振込の際、貴社名の前に「0711」と入れてお振込頂けますと入金処理上大変助かります。
可能であれば、ご協力宜しくお願い致します。※入力例「0711〇△×商事」

【お問合せ】 (一社)茨城県経営者協会・事務局 (担当：澤畑英史、薄井雄一)

Tel：029-221-5301 Fax：029-224-1109 Eメール：sawahatah@ikk.or.jp

【研修内容(予定)】

時間	研修内容
9:30 ～ 16:30	1. 自分に求められている役割を考える (1) 多面的に考える～立場を変えて役割を考える (2) 自分に求められる役割とは何か (3) 役割を積極的に受け入れる 2. 今まで乗り越えた壁を振り返る (1) 今まで自分が受けた厳しい体験(壁)について振り返る (2) 壁を「チャンス」と捉えるか? 「できない言い訳」にするか 3. 壁を乗り越えるためのモチベーション管理 (1) 考え方を切り替える① ～ ABC理論 (2) 考え方を切り替える② ～ 得られるもの・失うものを理解する (3) 考え方を切り替える③ ～ 思考のクセを知る (4) 失敗してもすぐ「復活」する① ～ 気持ちを切り替える方法を持つ (5) 失敗してもすぐ「復活」する② ～ ポジティブな考え方は「健康」から
昼休憩、 途中適宜 休憩あり	4. ワンランク上の仕事をするためのマインドセット (1) プロフェッショナルな社員とは? 【参考】プロフェッショナルになるための目標の立て方 (2) ステップアップに向けた姿勢 (3) 業務に慣れてきた段階で陥りがちな罠 5. PDCA ～成果を出すための仕事の進め方 (1) PDCAとは (2) 事前確認と計画を立てる (Plan) ① ～ 仕事の全体像を掴む (3) 事前確認と計画を立てる (Plan) ② ～ 仕事の目的を常に意識する (4) 事前確認と計画を立てる (Plan) ③ ～ 利害関係者の視点で考える (5) 実行する (Do) (6) 振り返る (Check) (7) 改善する (Action) (8) PDCAは過不足なく (9) PDCAサイクルは回し続けることが大切 【参考】タイムマネジメントとPDCA ～まとめ

第3期 壁を乗り越える研修(7/11) 参加申込書

Fax：029-224-1109 Eメール：sawahatah@ikk.or.jp

申込日：令和7年 月 日

会社名			
所在地	〒		
参加者氏名		ご所属	
参加者氏名		ご所属	
参加者氏名		ご所属	
お申込ご担当者 ご所属・氏名	Tel： Eメール：		

※ 上記データは、当日の名簿配布並びに協会運営以外の目的では使用しません。参加企業様の権利利益を損なうことの無いよう努めます。